

薬学教育における情報教育のガイドライン

【到達目標 1】

ICTを活用して、薬剤師業務に必要な情報を適正・適切に検索・収集・整理できる。

【到達度】

薬物治療上の問題点を解決するために必要な医薬品情報の情報源を選択し、具体的な情報を検索、収集、整理できる。

代表的なケースについて、知的所有権、守秘義務の考え方に照らし合わせて正しい行動であるか否かを判断できる。

【教育内容・教育方法】

は、薬物治療上の問題点の一例を示して、その問題を解決するために必要な情報源を列挙して説明し、情報の検索、収集を実演する。続いて、個々の学生に対して薬物治療上の問題点を症例又は事例として提示し、それぞれの問題点を解決するのに必要な情報源を列挙させ、必要な情報の検索及び収集、整理を行わせる。

は、グループごとに事例について調査し、小グループ討論を行った結果を発表する。

【到達度確認の測定手段】

は、学生が実際に検索、収集した情報について、目的を達成するのに必要な情報を収集できたか、不要な情報や誤った情報、不適切な情報を収集していないかを確認する。

は、グループの発表の評価は学生同士あるいはチューターがチェックシートで行う。それぞれの学生は、e-Learningシステムの掲示板で「薬剤師としてあるいは医療人として知的所有権や守秘義務についてどう考えるか」について意見交換する。教員は意見交換への参加度を評価対象とする。

【到達目標 2】

ICTを活用して、薬剤師業務に必要な情報を適正・適切に解析・評価できる。

【到達度】

情報源の信頼性を評価できる。

E B Mの観点から比較・分析し、その結果について問題点を抽出し、批判的に捉えることができる。

【教育内容・教育方法】

は、収集した情報について適切か適切でないかを振り分け、判断した根拠を説明させる。また、収集した情報について相反する内容があるかを調べて列挙させ、学修させる。

は、診療ガイドライン、システマティックレビュー（メタアナリシス）、ランダム化比較試験 R C T、その他の臨床研究を図書館医療情報検索システム M E D L I N E 等を通じて検索させ、批判的吟味を行わせる。

【到達度の測定方法】

は、課題論文を渡し、内在する問題点をきちんと抽出できたか、確認する。

は、クリニカルクエスチョンを課題として与え、それに対する回答をエビデンスとともに提出させ、確認する。

【到達目標 3】

ICTを活用して、薬剤師業務に必要な情報を適正・適切に加工・提供できる。

【到達度】

収集した情報をソフトウェアを用いて目的に応じた形に加工できる。

各種医療従事者向け及び患者向けの情報提供資料を作成できる。

ICTを活用して、作成した情報を提供できる。

【教育内容・教育方法】

は、ワープロ、表計算、プレゼンテーション等のソフトウェアを用いて、情報を加工させる。

は、各種医療従事者向け及び患者向けの情報提供資料を作成する場合における配慮すべき点について考えさせ、資料を作成させる。

は、情報提供のロールプレイなどを通じてICTの活用法について討議させる。

【到達度確認の測定手段】

は、課題データを与え、ソフトウェアを用いて適切な形に加工できたか確認する。

は、作成した図表を提出させ、医療従事者向け及び患者向けの図表の作り方に適切な配慮がなされているかを確認する。また、作成した情報提供資料を提出させ、用語やレイアウトに目的に応じた配慮がなされているかを確認する。ロールプレイは学生同士及びチューターがチェックシートを用いて評価する。

は、作成した情報を提供するためのICTの活用法が正しく理解できているかを確認する。